

第38回 区政世論調査 結果のあらまし

■ 調査の概要

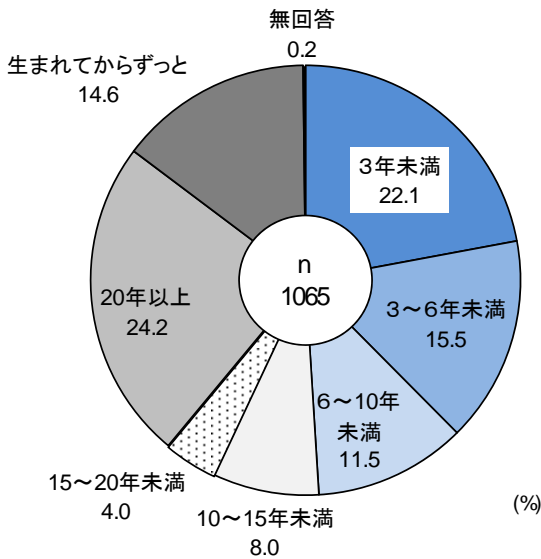
- (1) 調査対象 中央区に居住する満20歳以上の男女個人
- (2) 対象者 2,000人
- (3) 抽出方法 無作為抽出法
平成20年4月30日現在の住民基本台帳に登録された満20歳以上の男女94,575人より一定の割合で系統的に抽出
- (4) 調査方法 郵送配布・郵送回収
- (5) 調査時期 平成20年6月2日(月)～6月16日(月)
- (6) 調査項目
- | | |
|--------------------|-------------|
| ① 定住性 | ⑧ 町会・自治会 |
| ② 健康 | ⑨ 国際交流 |
| ③ 高齢者対策 | ⑩ 防災対策 |
| ④ 子育て支援 | ⑪ ごみの分け方・減量 |
| ⑤ 区政情報の入手方法 | ⑫ 図書館サービス |
| ⑥ 防犯対策 | ⑬ 施策の要望・評価 |
| ⑦ 区内共通買物券(ハッピー買物券) | |
- (7) 調査結果 別紙のとおり(抜粋)
- (8) 調査機関 株式会社ダイナックス都市環境研究所
- (9) 回収結果 回収数 1,065 回収率 53.3%

1. 定住性

■ 居住年数

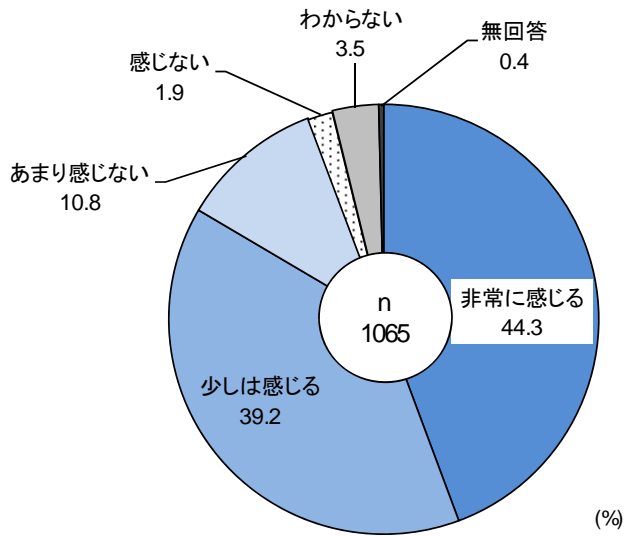
中央区に「3年未満」または「3年以上6年未満」の『短期居住者』は37.6%と4割弱を占め、「20年以上」または「生まれてからずっと」住んでいる『長期居住者』(38.8%)とほぼ同じ割合である。

前回の調査結果と比較すると『短期居住者』は5ポイント増加し、『長期居住者』は6ポイント減少している。



■ 愛着心

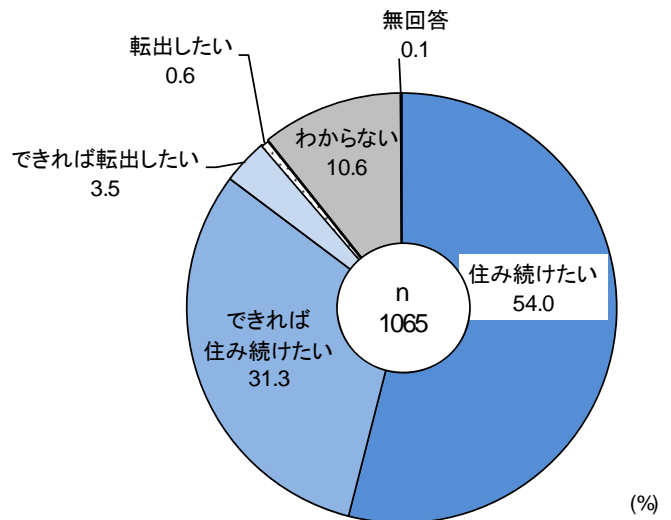
中央区に愛着を「非常に感じる」または「少しは感じる」のは、83.5%で8割を超える。一方、「あまり感じない」または「感じない」のは、12.7%と1割強である。



■ 定住意向

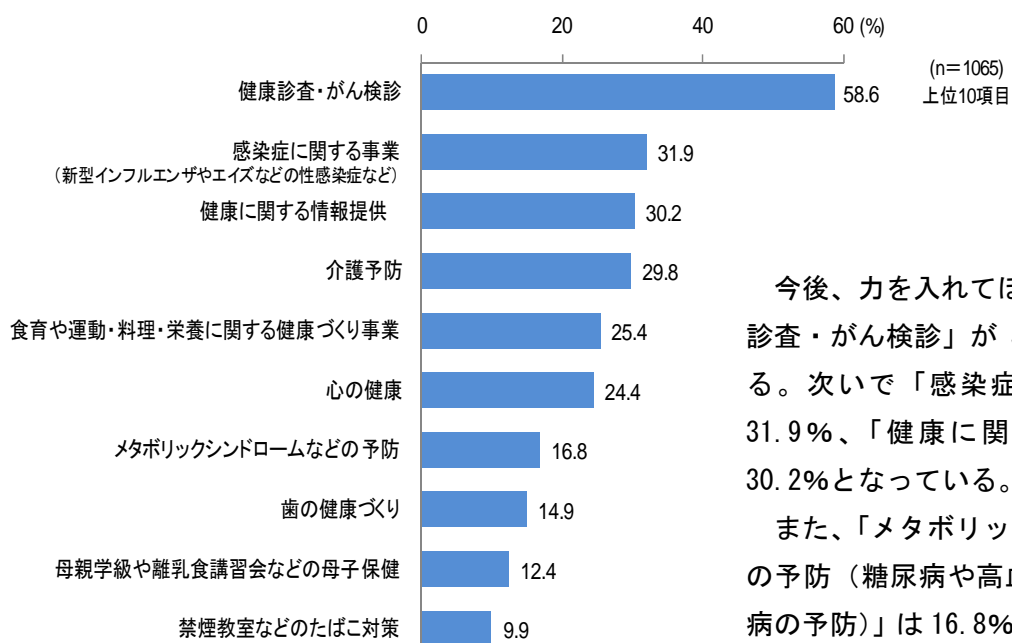
中央区に今後も「住み続けたい」(54.0%)は半数を超え、「できれば住み続けたい」と合わせた定住意向のある人は、85.3%と8割を超える。「できれば転出したい」と「転出したい」を合わせた定住意向のない人は4.1%である。

また、「わからない」(10.6%)が1割を占めている。



2. 健康

■ 区に望む健康維持のための施策

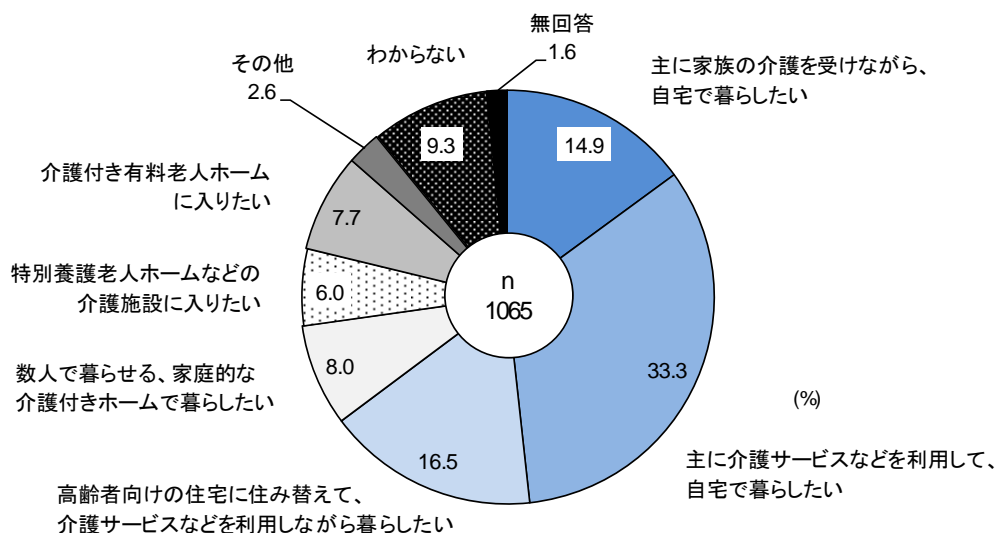


今後、力を入れてほしい施策は、「健康診査・がん検診」が 58.6%と半数を超える。次いで「感染症に関する事業」が 31.9%、「健康に関する情報提供」が 30.2%となっている。

また、「メタボリックシンドロームなどの予防（糖尿病や高血圧などの生活習慣病の予防）」は 16.8%と、1割台半ばにとどまっている。

3. 高齢者対策

■ 要介護時における暮らし方

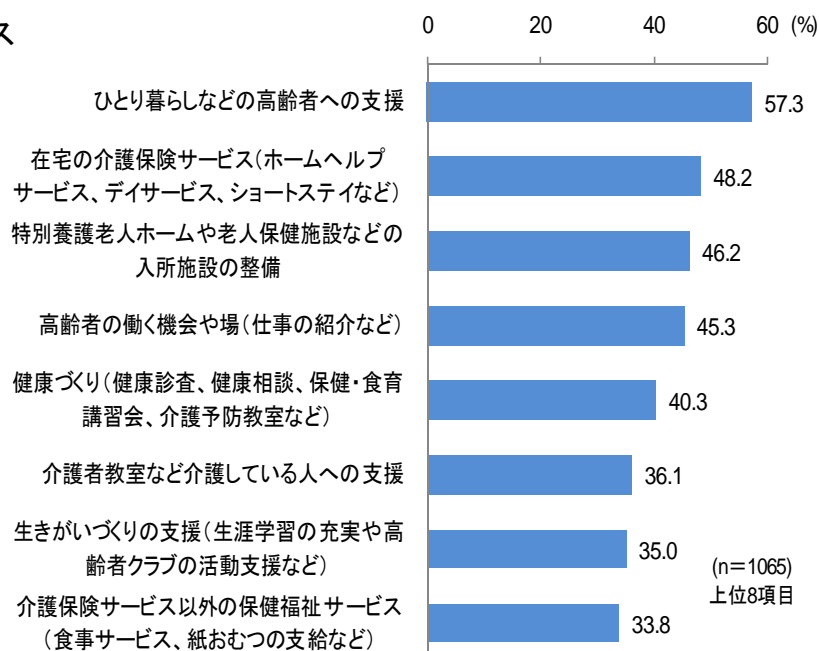


介護が必要になった場合の暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(33.3%)がもっとも多く、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(14.9%)と合わせると、『自宅で暮らしたい』人は半数近くになっている(48.2%)。

■区に望む高齢者保健福祉サービス

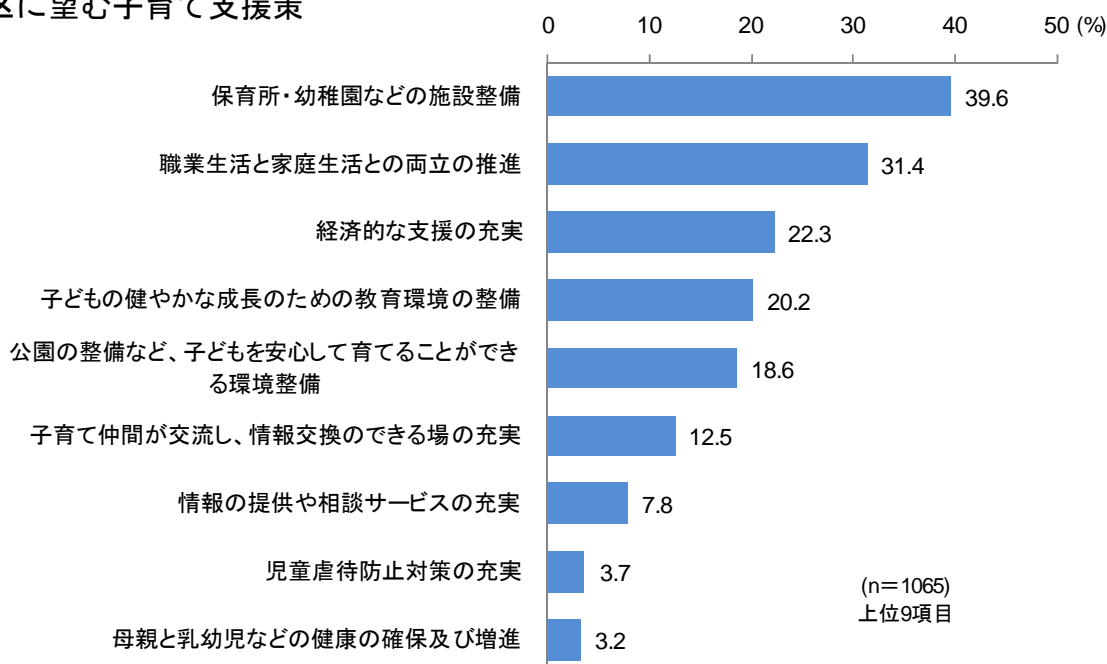
今後、力を入れてほしい施策は、「ひとり暮らしなどの高齢者への支援」が57.3%と半数を超える。次いで「在宅の介護保険サービス（ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイなど）」が48.2%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの入所施設の整備」が46.2%と、いずれも半数近くになっている。

前回の調査結果でも上位3項目は変わらないが、1位は6ポイント増加している。



4. 子育て支援

■区に望む子育て支援策



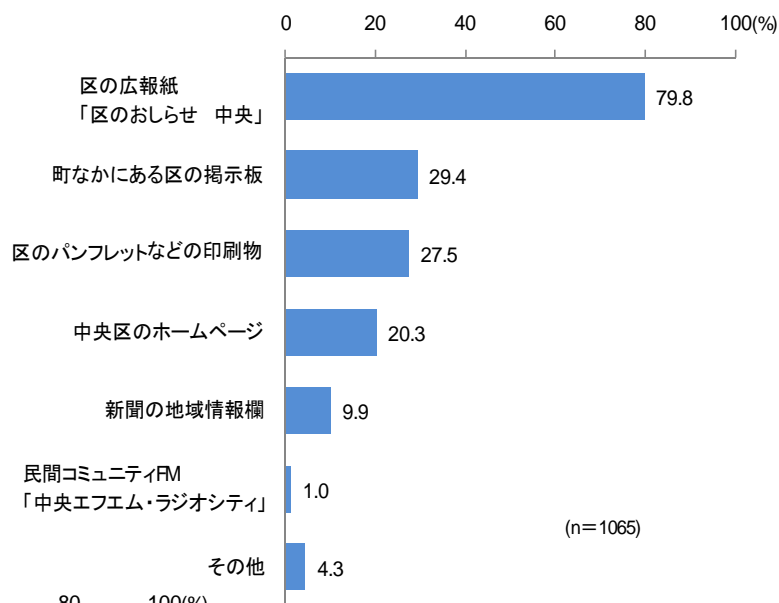
重要な区の子育て支援は、「保育所・幼稚園などの施設整備」(39.6%)が約4割でもっとも多く、以下、「職業生活と家庭生活との両立の推進」(31.4%)、「経済的な支援の充実」(22.3%)となっている。前回の調査結果と比較すると、「保育所・幼稚園などの施設整備」が6ポイント増加している。

5. 区政情報の入手方法

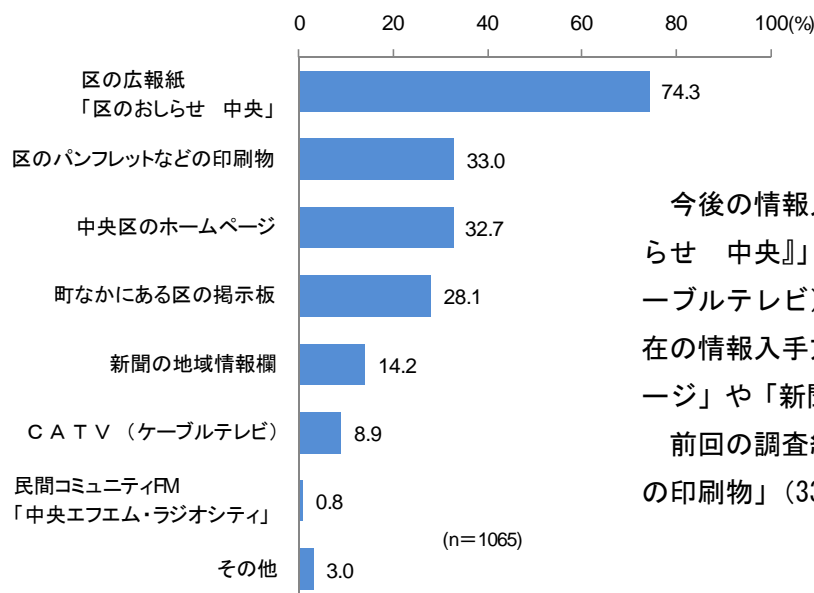
■現在の情報の入手方法

区政情報の入手方法は、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(79.8%)が約8割で、前回の調査結果と同様に圧倒的多数を占めている。

「民間コミュニティFM『中央エフエム・ラジオシティ』」(1.0%)は前回の調査結果同様、割合がもっとも低い。



■希望する情報の入手方法



今後の情報入手方法の希望は、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(74.3%)が7割を超える。「CATV (ケーブルテレビ)」の希望は、1割に満たない(8.9%)。現在の情報入手方法(前問)と比べて、「中央区のホームページ」や「新聞の地域情報欄」の希望が高くなっている。

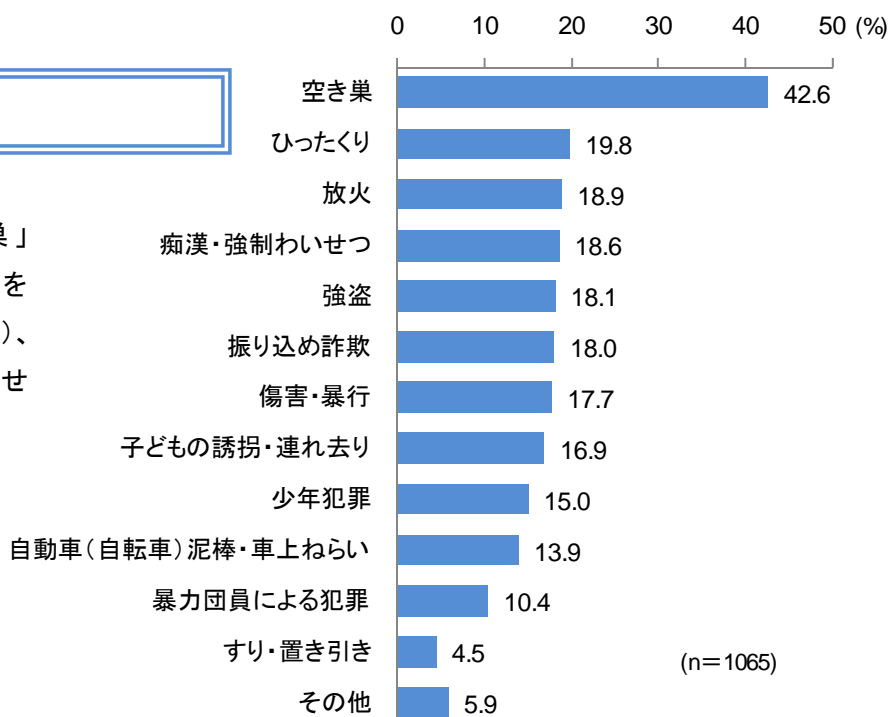
前回の調査結果と比較すると、「区のパンフレットなどの印刷物」(33.0%)が4ポイント増加している。

6. 防犯対策

■犯罪に対する不安感

不安を感じる犯罪は、「空き巣」(42.6%)が4割を超え、圧倒的多数を占める。以下、「ひったくり」(19.8%)、「放火」(18.9%)、「痴漢・強制わいせつ」(18.6%)となっている。

前回の調査結果と比較すると、「放火」が4ポイント減少、「痴漢・強制わいせつ」が3ポイント増加している。

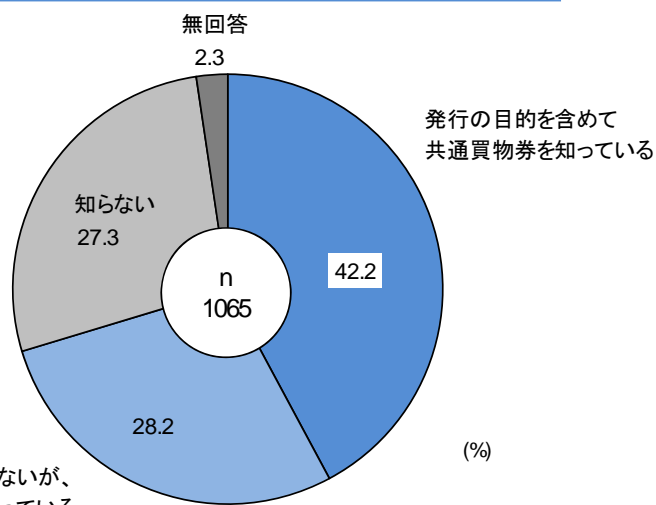


7. 区内共通買物券（ハッピー買物券）

■ 共通買物券の周知度

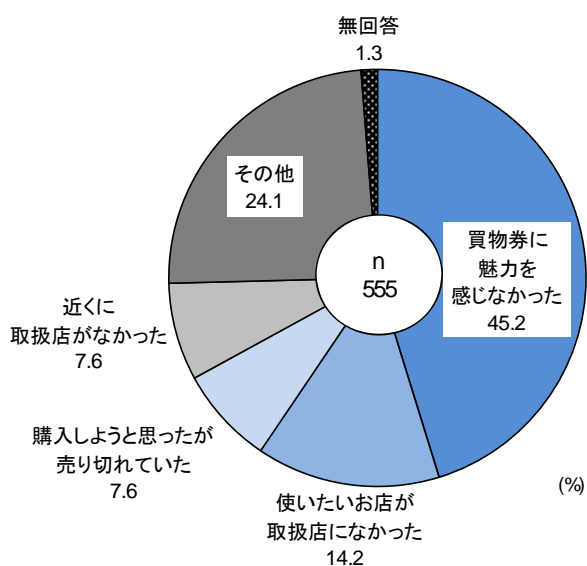
景気拡大を図るとともに、区内中小小売店の顧客を増加させる目的で区が発行する、共通買物券（ハッピー買物券）を「発行の目的を含めて知っている」のは、4割を超える（42.2%）。

「発行の目的は知らない」と合わせると、共通買物券を『知っている』のは7割（70.4%）である。

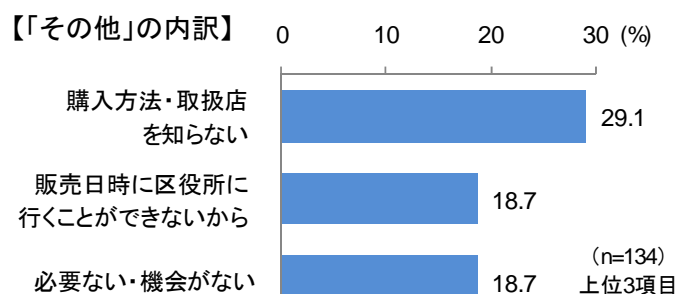


発行の目的は知らないが、共通買物券は知っている

■ 共通買物券を購入しなかった理由



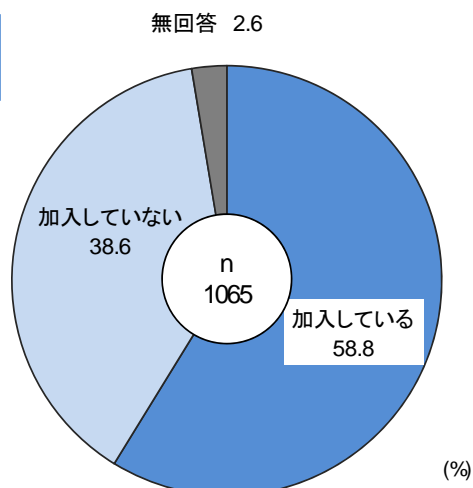
前問で、買物共通券を『知っている』人が購入しなかった理由は、「買物券に魅力を感じなかった」（45.2%）が半数近くを占める。また、24.1%を占めた「その他」の内訳は、「購入方法・取扱店を知らない」（29.1%）が約3割となっている。



8. 町会・自治会

■ 町会・自治会の加入状況

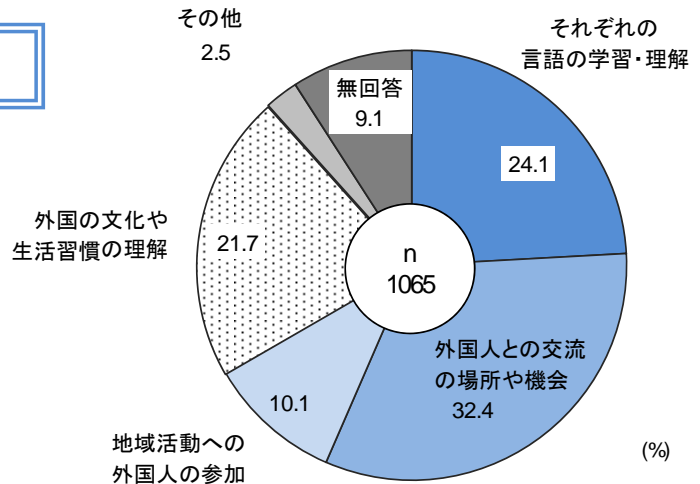
町会・自治会へは、「加入している」（58.8%）が6割近くを占め、「加入していない」（38.6%）を大きく上回っている。



9. 国際交流

■在住外国人と交流するため必要なこと

交流のために必要なことは、「外国人との交流の場所や機会」(32.4%)が3割を超えもっとも多く、以下「それぞれの言語の学習・理解」(24.1%)、「外国の文化や生活習慣の理解」(21.7%)となっている。

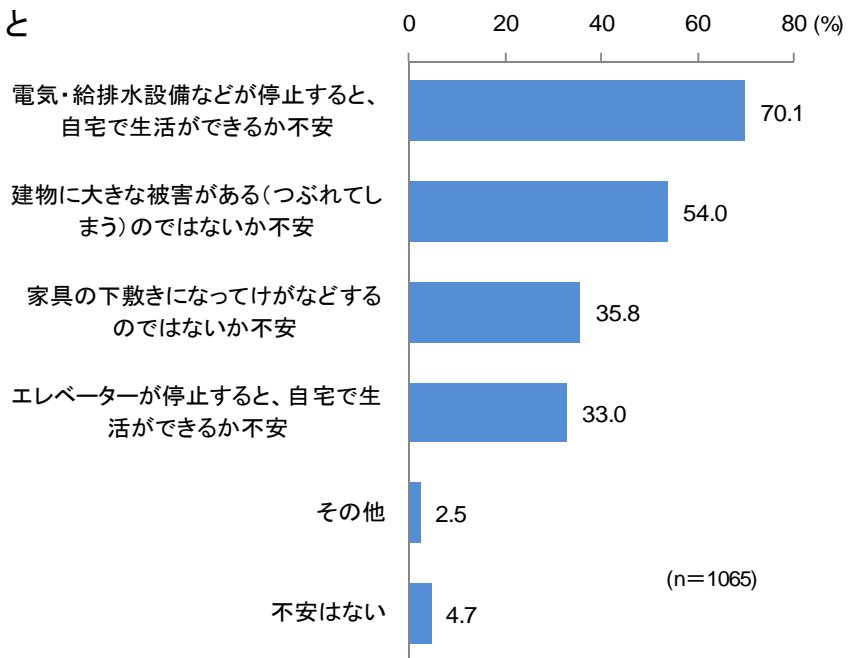


10. 防災対策

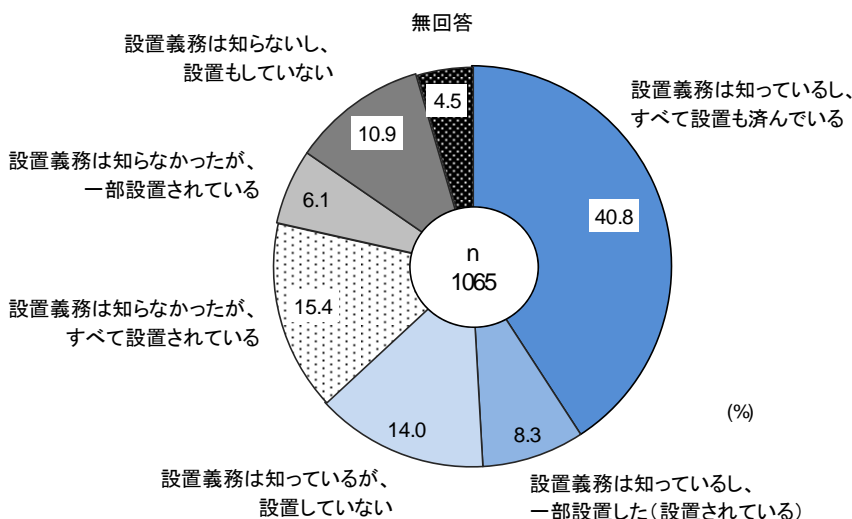
■住まいの安全性について不安なこと

住まいの安全性についての不安は、「電気・給排水設備などが停止すると、自宅で生活ができるか不安」(70.1%)が7割でもっとも多く、以下「建物に大きな被害がある(つぶれてしまう)のではないかな不安」(54.0%)、「家具の下敷きになってけがなどするのではないかな不安」(35.8%)、「エレベーターが停止すると、自宅で生活ができるか不安」(33.0%)となっている。

一方、「不安はない」は4.7%である。



■住宅用火災警報器の設置状況

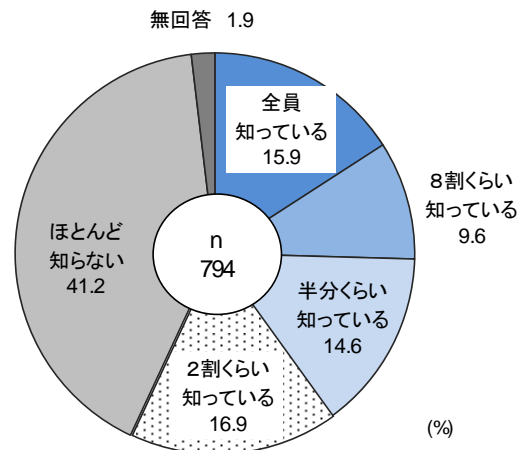


住宅用火災警報器の「設置義務は知っているし、すべて設置も済んでいる」(40.8%)が、4割で最も多い。また、設置義務については、『知っている』を合わせると、6割を超える(63.1%)。

設置については、「すべて」または「一部」設置済みを合わせると、7割となる(70.6%)。

■集合住宅に住む方で同階居住者の周知状況

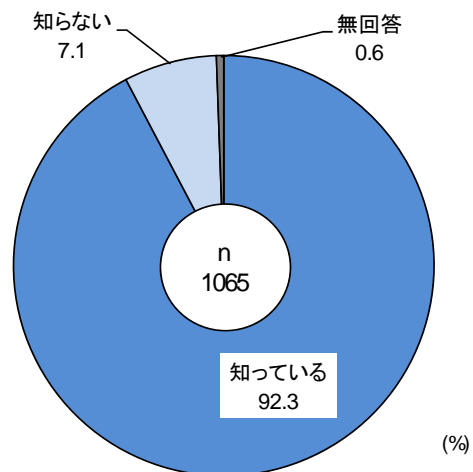
集合住宅では、同階居住者を「全員知っている」(15.9%)が1割台半ばである一方、「ほとんど知らない」(41.2%)が4割を超えている。



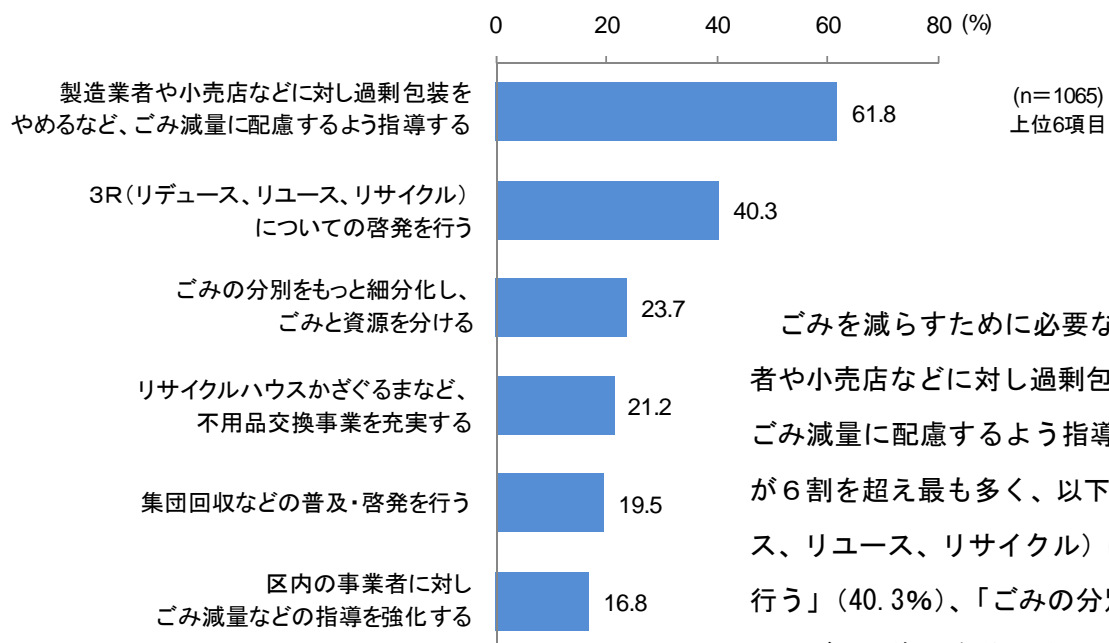
11. ごみの分け方・減量

■ごみの分け方変更の認知

ごみの分け方が変わったことを「知っている」人は9割を超え(92.3%)、認知度は高い。一方、1割に満たないものの、「知らない」人も未だ7.1%ある。



■ごみ減量のために必要なこと



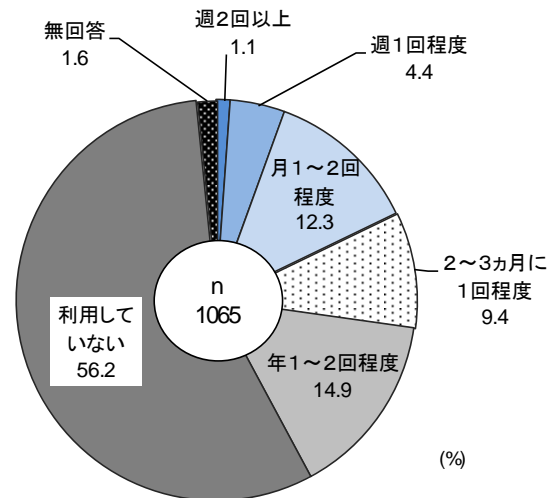
ごみを減らすために必要な対策は、「製造業者や小売店などに対し過剰包装をやめるなど、ごみ減量に配慮するよう指導する」(61.8%)が6割を超え最も多く、以下「3R(リデュース、リユース、リサイクル)についての啓発を行う」(40.3%)、「ごみの分別をもっと細分化し、ごみと資源を分ける」(23.7%)となっている。

12. 図書館サービス

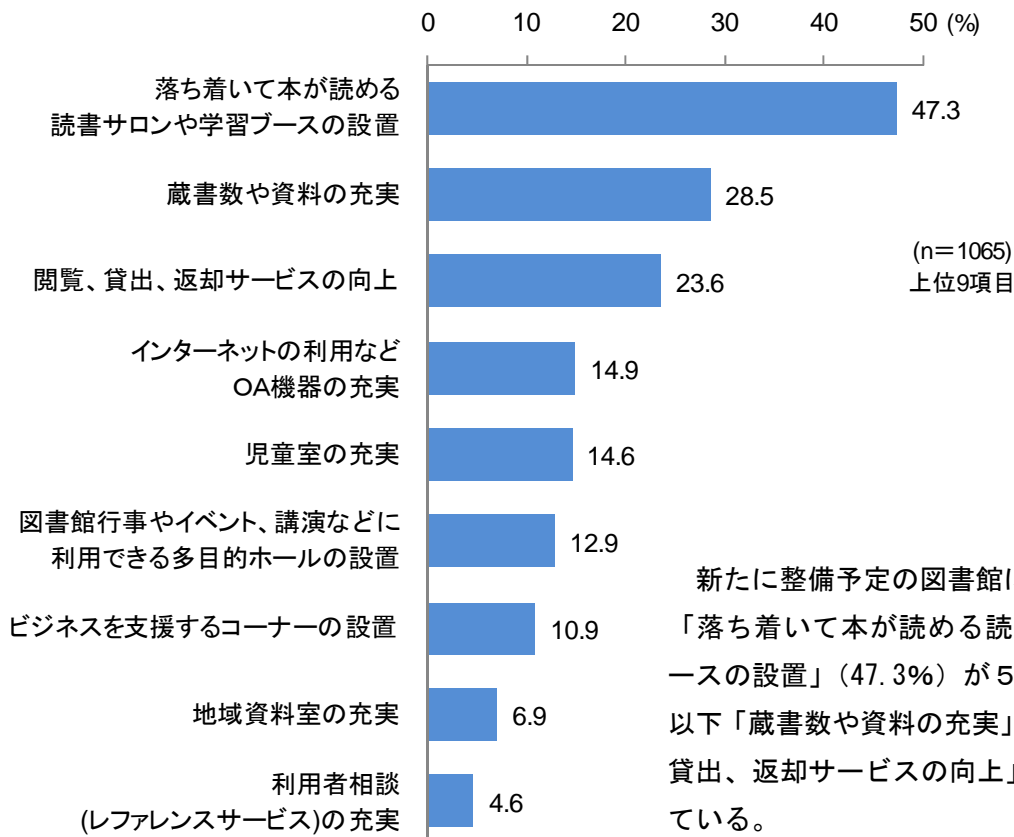
■ 区立図書館の利用状況

過去1年間の区立図書館の利用状況は、「利用していない」(56.2%)が半数を超えている。

『利用した』場合には、「年1～2回程度」(14.9%)が最も多く、以下「月1～2回程度」(12.3%)、「2～3ヶ月に1回程度」(9.4%)となっている。



■ 新たに整備予定の図書館に期待すること



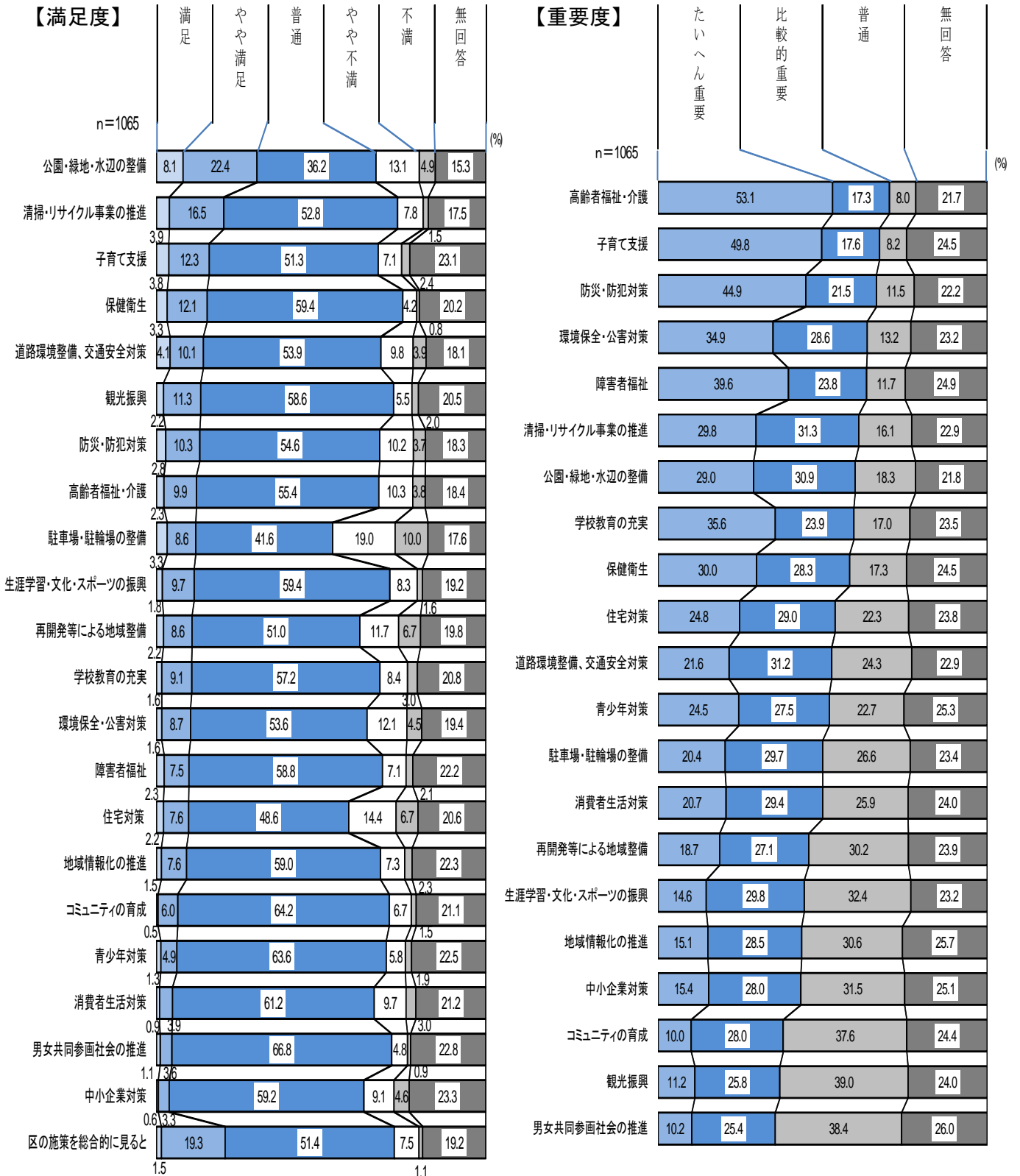
新たに整備予定の図書館に期待することは、「落ち着いた本が読める読書サロンや学習ブースの設置」(47.3%)が5割弱で最も多い。以下「蔵書数や資料の充実」(28.5%)、「閲覧、貸出、返却サービスの向上」(23.6%)となっている。

13. 施策の要望・評価

■ 区の施策の満足度と重要度

満足度が高いのは「公園・緑地・水辺の整備」、低いのは「駐車場・駐輪場の整備」。

重要度が高いのは「高齢者福祉・介護」、低いのは「男女共同参画社会の推進」。

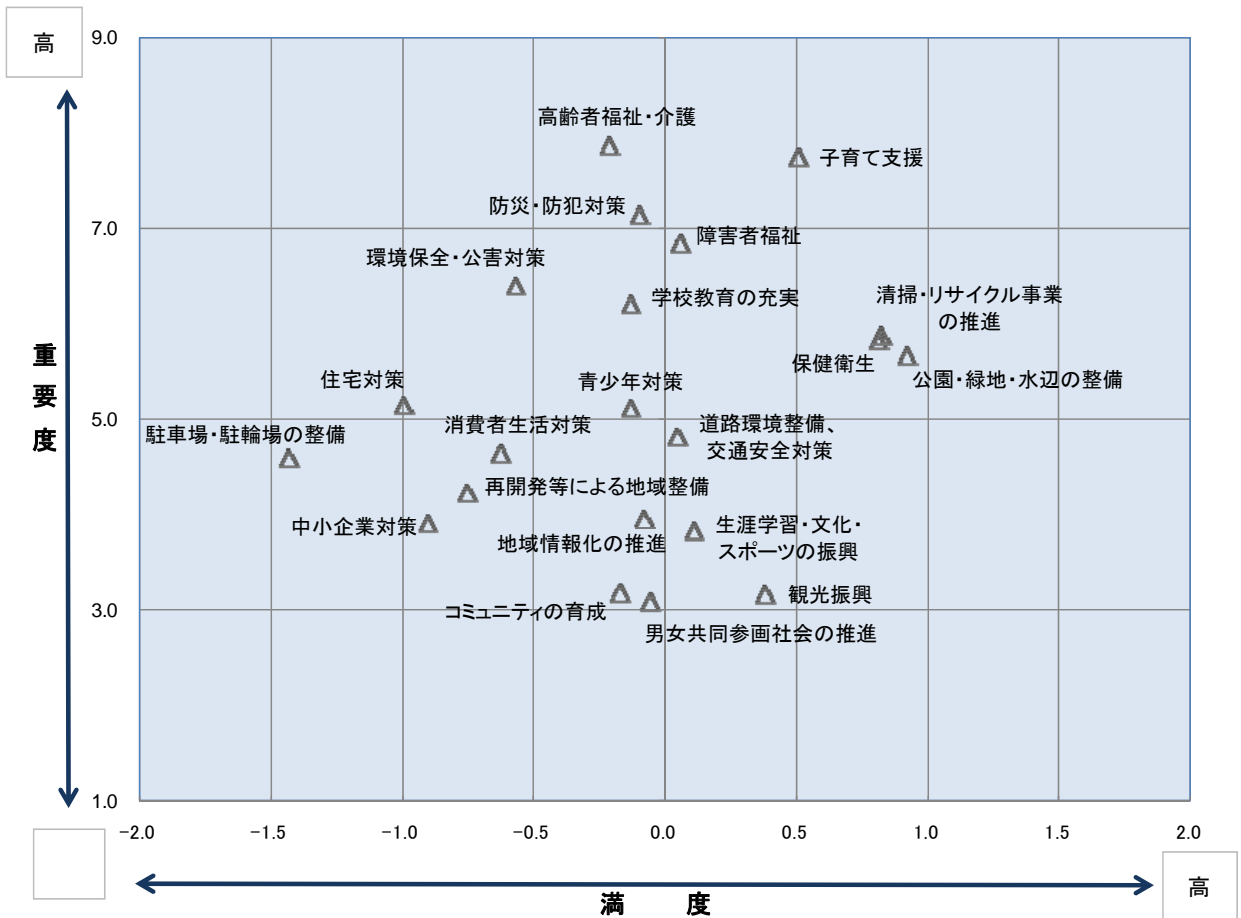


左記のグラフをみると、満足度と重要度のそれぞれ上位・下位5位は次のようになっている。

満 度	()	重要度	()	
【上位】	公園・緑地・水辺の整備	30.5	高齢者福祉・介護	70.4
	清掃・リサイクル事業の推進	20.4	子育て支援	67.4
	子育て支援	16.1	防災・防犯対策	66.4
	保健衛生	15.4	環境保全・公害対策	63.5
	道路環境整備、交通安全対策	14.2	障害者福祉	63.4
【下位】	駐車場・駐輪場の整備	29.0	男女共同参画社会の推進	35.6
	住宅対策	21.1	観光振興	37.0
	再開発等による地域整備	18.4	コミュニティの育成	38.0
	公園・緑地・水辺の整備	18.0	中小企業対策	43.4
	環境保全・公害対策	16.6	地域情報化の推進	43.6

■区の施策の満足度と重要度の相関

このグラフは、満足度と重要度を相関させた散布図である。横軸は満足度を、縦軸は重要度を表し、右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高いことを表している。



■区の施策への要望

今後力を入れてほしい施策は、「高齢者福祉・介護」が（37.9%）4割弱で最も多く、次いで「防災・防犯対策」（28.8%）、「子育て支援」（28.0%）となっている。

前回の調査結果と比較すると、「公園・緑地・水辺の整備」（18.0%）が3ポイント増加、「環境保全・公害対策」（14.1%）が4ポイント減少、「住宅対策」（13.6%）が9ポイント減少している。

